

JBL FLIP

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	
🚫 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	🚫 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
🚫 分解してはいけないことを示す記号です。	🚫 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
🚫 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	🚫 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
🚫 触れてはいけないことを示す記号です。	

⚠ 警告	
⚠ AC アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、AC アダプタを容易に引き抜くためです。	🚫 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
🚫 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。	⚠ 本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
🚫 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。	🚫 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
🚫 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。	🚫 本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
🚫 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。	🚫 アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
🚫 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。	🚫 分解や改造をしない。感電の原因になります。
⚠ 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	🚫 調理台や加温器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
🚫 タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。	🚫 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。
🚫 テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。	⚠ オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。
🚫 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。	
🚫 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	
🚫 煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。	

⚠ 注意

🚫 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。	🚫 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
🚫 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。	🚫 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
🚫 AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。	🚫 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
⚠ AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。	🚫 薬物厳禁ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- ⚠ 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
 - 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
 - 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
 - すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- ⚠ 電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠ **注意**

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

本機の特長

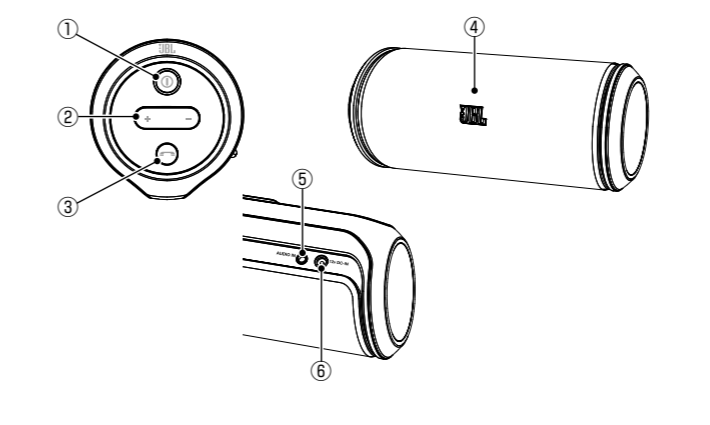
- ◆ Bluetooth2.1+EDR 2.1 + ワイヤレススピーカー
PIN コード自動入力 of 簡単セッティングなので、すぐにワイヤレスで音楽再生を楽しむことができます。
- ◆ Bluetooth 対応携帯電話でのハンズフリー通話機能
マイク内蔵及び HFP プロファイルに対応しているので、スマートフォンなどでハンズフリー通話が可能です。音楽再生中に電話がかかかってきても、ボタンを押すだけでハンズフリー通話ができます。
- ◆ 音響工学に基づいたチューブスタイルデザイン
独創的なチューブスタイルは音質に悪影響を与える内部定在波の発生を抑えるだけでなく、キャビネット容量を多く確保することが可能です。コンパクトサイズながらも音響工学に基づいたデザインを採用しています。
- ◆ 独自のデジタル・シグナル・プロセッシング
独自のコンピューターシミュレーションを駆使したデジタル・シグナル・プロセッシングを実施。音響工学に基づいたデザインと共に、ナチュラルで高品位な JBL サウンドを可能にします。
- ◆ 独自開発 40mm 径ドライバ + デジタルアンプ
独自のサウンドテクノロジーにより開発された、パワフルな 40mm フルレンジスピーカーユニットを 2 基搭載。高効率かつクリーンなデジタルアンプが、総合 10W のハイパワーでそのポテンシャルを引き出します。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- AC アダプタ+ソケット
- 専用キャリングポーチ

各部の名称とはたらき

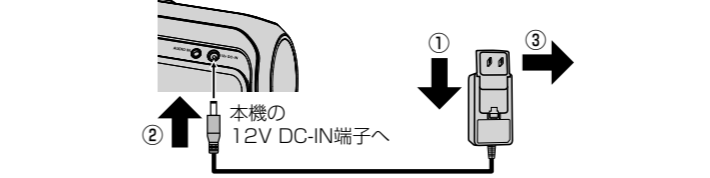


充電する

付属の AC アダプターで充電します。充電時間は約 3 時間*です。

* 充電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- AC アダプタに付属のソケットをセットする。ソケットを上部からはめ込みます。カチッと音がするまでしっかりとセットしてください。
- AC アダプタを本体背面の 12V DC-IN 端子に接続する。
- AC アダプタを壁面のコンセントに接続する。本機は国内外でお使いいただけます。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。



- ◆ リチウムイオン電池内蔵のポータブル仕様
リチウムイオン電池内蔵により 3 時間の充電で約 5 時間の再生が可能です。アウトドアでも積極的にワイヤレスで音楽を楽しむ事ができます。
- ◆ 外部音声入力装備
3.5mm ステレオミニ端子の外部入力を装備。市販のオーディオケーブルを使用してパソコンやポータブルプレイヤーなどの有線接続も可能です。
- ◆ 専用ネオプレーン・キャリングポーチ付属
衝撃や傷から本体を守ってくれるネオプレーン素材のキャリングポーチが付属します。

Bluetooth™

- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

<input type="checkbox"/> 日本語取扱説明書（本紙）
<input type="checkbox"/> 多言語取扱説明書
<input type="checkbox"/> 保証書（日本国内用）

- ① 電源 /Bluetooth ボタン
電源を入れる / 切るたびに、「ポッ」とピーブ音が鳴ります。また、電源 /Bluetooth ボタンの周りはインジケーターになっており、本機の状態を確認することができます。
電源オン /Bluetooth 未接続時：青く点滅
電源オン /Bluetooth 接続時：青く点灯
ペアリング設定状態：赤 / 青交互に点滅
電池残量わずか：赤く点灯
電源オフ：消灯
- ② 音量ボタン
- ③ ハンズフリーボタン
- ④ 内蔵マイク
- ⑤ AUDIO IN（オーディオ入力）端子
- ⑥ 12V DC-IN（DC 入力）端子

充電する

ソケットのはずし方

AC アダプタのソケット接続部の下にある PUSH スイッチを押しながらスライドすると、ソケットをはずすことができます。

充電中は本機の電源 /Bluetooth ボタンが赤く点灯し、満充電になると消灯します。充電が完了したら、AC アダプターを本機からはずしてください。

電池残量について

ご使用中、本機の電源 /Bluetooth ボタンが青から赤に変わったら充電してください。

Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

▶ iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- 電源 /Bluetooth ボタンを押して電源を入れる。「ポッ」とビープ音が鳴り、電源 /Bluetooth ボタンが青に点滅します。
- 「ポポッ」というビープ音が鳴るまで電源 /Bluetooth ボタンを押し続ける。電源 /Bluetooth ボタンが青 / 赤交互に点滅し、ペアリング設定状態になります。
- iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- デバイスから「JBL Flip」を選択する。デバイスに「接続されました」と表示され、本機で「ピピッ」と鳴ったらペアリングが完了します。ペアリングが完了すると、本機の電源 /Bluetooth ボタンが青く点灯します。
 - iPhone は「ハンズフリー (HFP)」モードで接続されます。

▶ Bluetooth 搭載の携帯電話・スマートフォンでペアリングを行う

携帯電話・スマートフォンとハンズフリー (HFP) 接続することにより、音楽再生に加え、ハンズフリー通話を楽しむことができます。

- 登録にはお使いの携帯電話・スマートフォンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
- 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートフォンの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機のバスキーは「0000」です。
 - 電源 /Bluetooth ボタンを押して電源を入れる。「ポッ」とビープ音が鳴り、電源 /Bluetooth ボタンが青に点滅します。
 - 「ポポッ」というビープ音が鳴るまで電源 /Bluetooth ボタンを押し続ける。電源 /Bluetooth ボタンが青 / 赤交互に点滅し、ペアリング設定状態になります。
 - 携帯電話・スマートフォンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。本機で「ピピッ」とビープ音が鳴り、電源 /Bluetooth ボタンが青く点灯すると、ペアリングは完了です。

▶ その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 電源 /Bluetooth ボタンを押して電源を入れる。「ポッ」とビープ音が鳴り、電源 /Bluetooth ボタンが青に点滅します。
- 「ポポッ」というビープ音が鳴るまで電源 /Bluetooth ボタンを押し続ける。電源 /Bluetooth ボタンが青 / 赤交互に点滅し、ペアリング設定状態になります。

- 相手側機器をペアリング設定状態にする。接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。バスキーが必要な場合は「0000」と入力します。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。本機で「ピピッ」とビープ音が鳴り、電源 /Bluetooth ボタンが青く点灯すると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したい機器の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ ハンズフリー通話を行う

iPhone・携帯電話・スマートフォンとハンズフリー (HFP) 接続すると、本機のハンズフリーボタン○で iPhone・携帯電話・スマートフォンの簡単な操作を行うことができます。

	ハンズフリーボタン○の操作	
状態	1 回押す	押し続ける
通話も着信もしていないとき	—	iPhone/ スマートフォンの音声認識モードになります。
電話で相手先の電話番号を入力しているとき	電話を切ります。	電話を切ります。
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り換えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を保留にし、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。
どちらの電話も着信 / 通話中のとき	両方の電話を切ります。	押すごとに通話を切り換えます。

※ 機種により、一部の機能を使えない場合があります。
※ 携帯電話・スマートフォンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

▶ 別の機器をペアリングするには


「ポポッ」というビープ音が鳴るまで、電源 /Bluetooth ボタンを押し続けます。または、ペアリングしている機器の Bluetooth をオフにします。

別の相手側機器をペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- 音楽再生時に、 アイコンをタップする。



- 「JBL Flip」をタップする。

その他の機器で設定する

▷ 接続した機器で再生を始める。

接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 <p>オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。</p> <p>オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。</p>
音が歪む。	音量が上がりにすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 <p>別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。</p>

主な仕様

Bluetooth	Bluetooth2.1+EDR
伝送距離	Class 2（通信距離約 10m、障害なきこと）
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP
音声入力	Bluetooth × 1、外部音声入力× 1
最大出力	5W × 2
使用ユニット	40mm 径フルレンジドライバー× 1
周波数特性	150Hz～ 20kHz
電池	リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 3 時間
連続再生時間*	約 5 時間
サイズ	幅 160mm ×高さ 65mm ×奥行き 70mm
質量	360g

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。

<p>ご注意</p> <p>感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。</p>

▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では JBL 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など JBL 製品の最新情報をお送りいたします。

http://www.harman-japan.co.jp/jbl/

このアドレスでトップページにアクセスし、「ご愛用者登録」をクリックしてください。

携帯電話からはご登録できませんのでご注意ください。

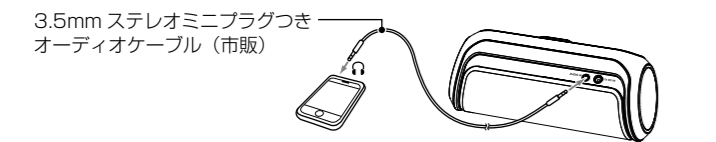
▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

http://www.harman-japan.co.jp/

その他のオーディオ機器の音楽を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグつきオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。



- 3.5mm ステレオミニプラグつきケーブル（市販）を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUDIO IN（オーディオ入力）端子に接続する。
- オーディオ機器または PC で音声を再生する。

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社

© 2012 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.